

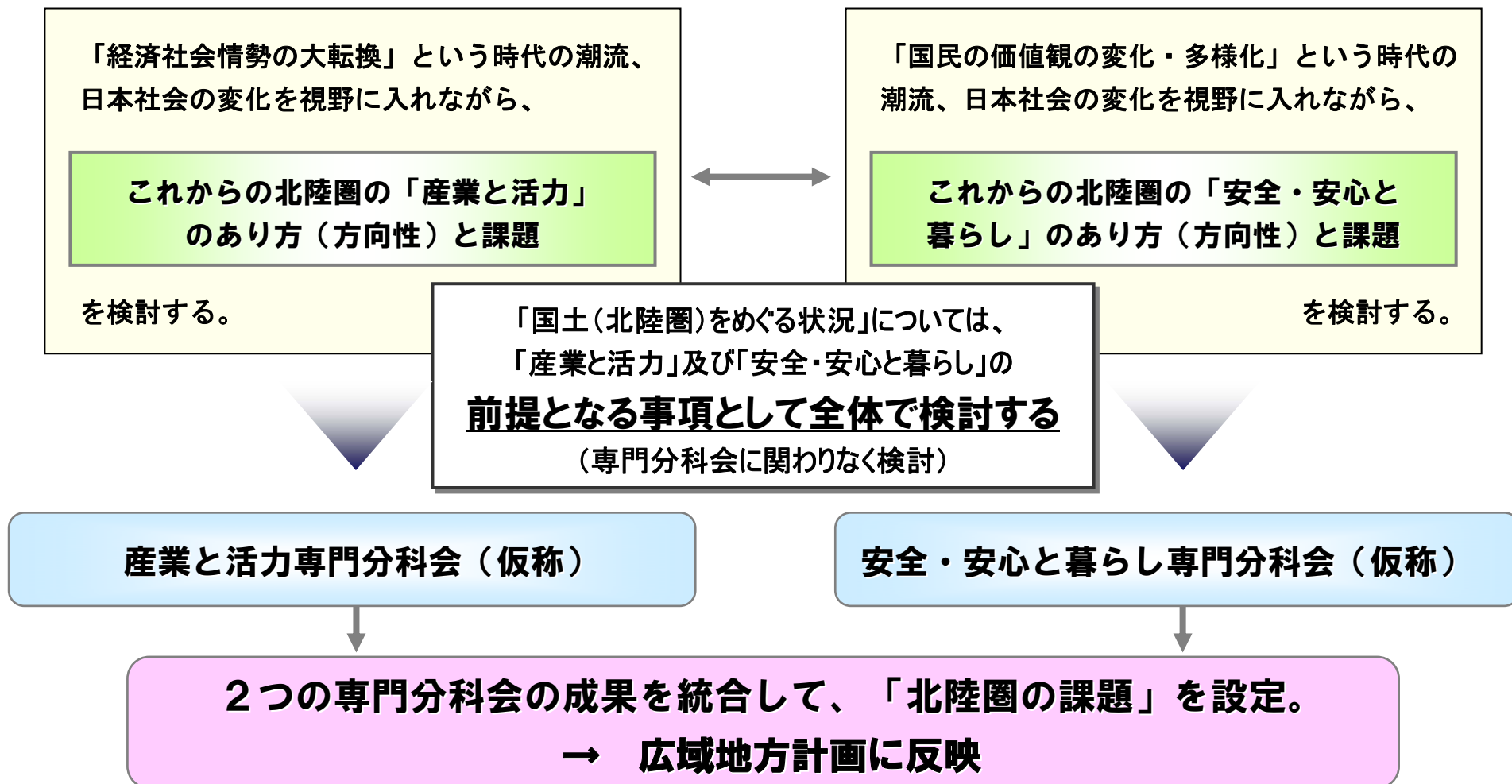
北陸圏広域地方計画の策定について

<課題検討の進め方>

平成19年1月22日
国土交通省北陸地方整備局
国土交通省北陸信越運輸局

1. 課題検討の進め方

日本及び北陸圏が直面する時代の潮流（社会変化）と国土政策上の課題をふまえて、北陸独自の課題を明確にしていくために、次の2つの方向性と課題を検討する専門分科会を設置する。



専門分科会においては、以下の項目を主に検討していく。

1. 産業と活力専門分科会（仮称）

- 人口減少や高齢化等をふまえつつ、東アジアとの交流や産業を中心に、活力ある北陸圏に向けて、これからの課題を検討。
- 東アジアとの関係のあり方をはじめ観光・交流、地域産業など、地域の活力に関わる項目を中心に地域の課題を検討。

<主な検討項目>

- グローバル化の進展と東アジアの経済発展（1）-②
- 情報通信技術の発達（1）-③
- ※東アジアのゲートウェイ
- ※ユビキタス社会
- ※農林水産業、エネルギー
- ※特色ある伝統産業、特色ある産業
- ※日本列島の中心(扇の要)

- 計画部会中間とりまとめにおける「課題整理」
- ※北陸圏において重視すべき検討項目

2. 安全・安心と暮らし専門分科会（仮称）

- 自然災害等への備えを中心に、北陸圏の脆弱な地形・自然条件に対応する圏域づくりの課題を検討。また、居住やライフスタイル、雪の活用等暮らしに関する今後のあり方や課題も検討
- さらに雪対策やコミュニティ再生、NPOや企業等による国土管理ネットワーク等についても検討。

<主な検討項目>

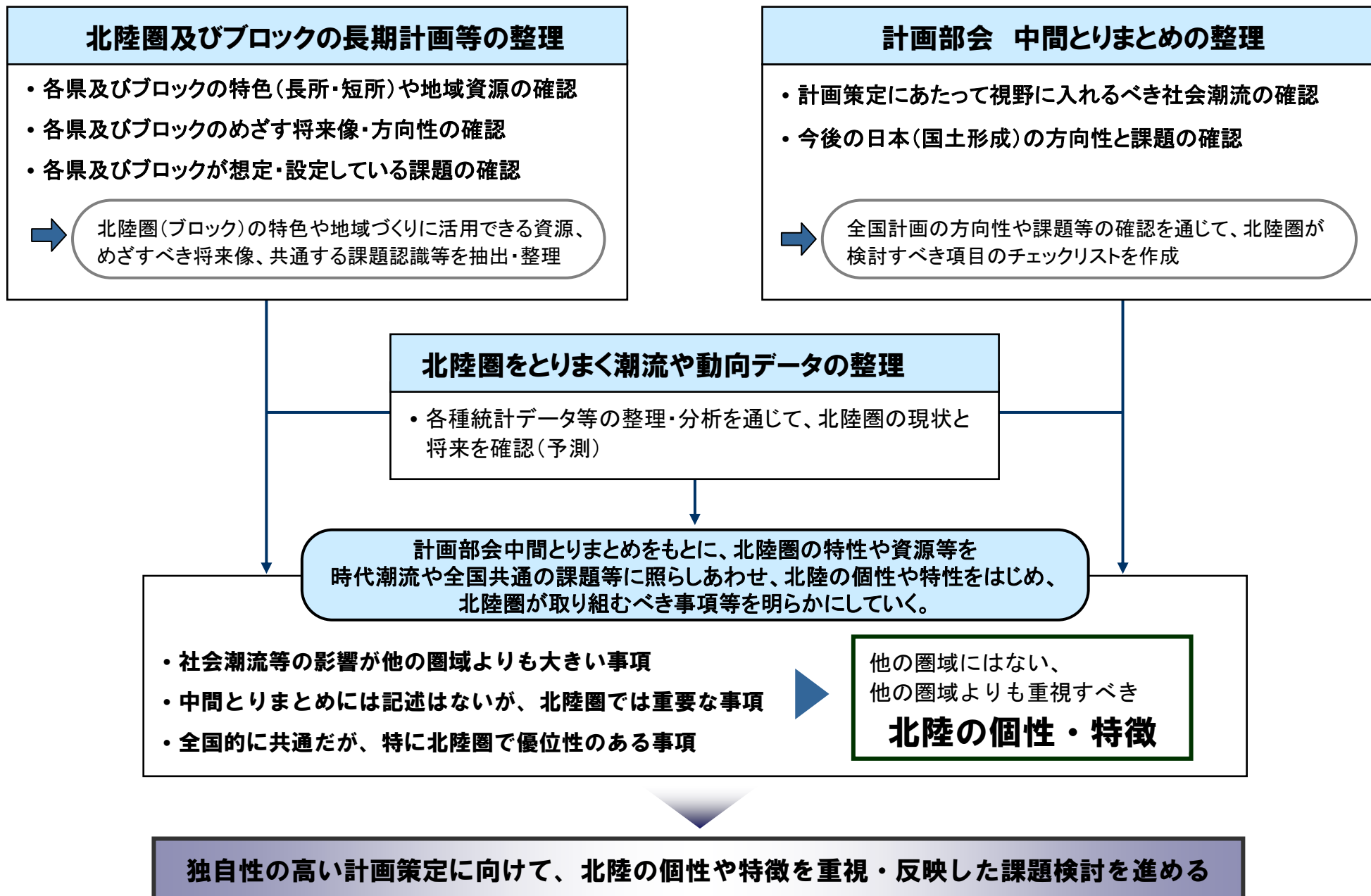
- 安全・安心、環境や美しさ、文化に対する国民意識の高まり（2）-①
- 国土づくりを担う主体の育成（2）-②
- ライフスタイルの多様化、「公」の役割を果たす主体の成長（2）-②

- ※急峻な地形、急流河川等の自然条件
- ※雪対策と活用
- ※中山間地、過疎問題への対応
- ※歴史・伝統・文化や自然と居住の豊かさの活用
- ※雪の活用(文化、景観、水資源等)

<共通して検討する項目>

- 本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化（1）-①
- 一極一軸型国土構造の現状（3）-①
- 地域の自立に向けた環境の進展（3）-②
- 人口減少等を踏まえた人と国土のあり方の再構築の必要性（3）-③
- ※人口減少と高齢化の先進地域

2. 課題検討フレーム(案)



産業と活力専門分科会

〈今後予想される北陸圏の動向—社会変化・北陸の特性から〉

- 東アジア地域との連携・交流の強化と促進
- 時代や社会に対応した地域産業の再生と活性化
- 他地域との競争を勝ち抜くための独自性や個性の伸長
- 活力ある地域づくりに欠かせない「交流人口の拡大」への取り組み
- 人口減少社会のインパクトに対応する地域づくりの必要性

〈北陸圏の将来イメージ・方向性〉

全国と東アジアを後背地として活用し活力が高まる北陸

〈今後の北陸圏の課題（例）〉

- ① 東アジアへのゲートウェイとしての物流や交流拠点施設の整備・拡充
- ② 連携による強力な情報発信とマーケティングの展開による北陸産業のブランド化
- ③ 「雪」と「農業」の多面的な活用による魅力ある圏域の形成
 - 1) 景観や文化の継承
 - 2) 活性化の取り組みと産業への活用
 - 3) 二地域居住や交流への活用
- ④ 東アジアとの継続的な交流活動の推進
- ⑤ 時代や訪れる人のニーズを捉えた新しい「北陸観光」の創出・展開
 - 1) 北陸を体験する「ロングステイ観光」への取り組み
 - 2) 東アジアを初めとする、訪日外国人旅行者の拡大
 - 3) 北陸の産業と連携した新しい「北陸観光」づくり
 - 4) 訪れた人・誰もが楽しめるホスピタリティあふれる地域づくりの推進

安全・安心と暮らし専門分科会

〈今後予想される北陸圏の動向—社会変化・北陸の特性から〉

- 厳しい自然条件等の克服と防災・減災体制の早期構築
- 直面している中山間地の「安全・安心」問題への対応
- テロや地球環境等日本海を超えてひろがる問題への懸念
- 「安全」で「安心」な地域イメージの回復・再生
- 中山間地における居住環境の低下や集落崩壊への対応
- 地域文化やコミュニティの喪失への取り組み(雪国文化の継承・発展)
- 交流人口の拡大と新たな居住者(二地域居住など)の獲得
- 都市と自然が連なる「豊か」で「美しい」北陸の維持・継承

〈北陸圏の将来イメージ・方向性〉

安全で安心な暮らしがひろがり誰もが住みたくなる北陸

〈今後の北陸圏の課題(例)〉

①「安全・安心」を支えるハードとソフトの取り組みによる「地域防災力」の向上

- 1) 自然災害が発生しにくい地域整備のための治山、治水、雪対策、地震対策等の推進
- 2) 災害に対する「防災」「減災」の地域システムの形成

②中山間地の国土保全機能を維持するための新しいシステム・方策等の展開

③世界のモデルとなる新しい「雪国」の実現

④多様な生き方やライフスタイルを支える居住圏域の形成

- 高度医療や緊急医療施設の再配置とアクセス性の向上
- 移住やSOHOを支援するIT環境の整備
- 北陸の文化や産業を体験・学習できるしくみづくり(学校、案内人)

⑤都市と田園のリノベーションの推進

- 1) 都市機能の拡充・再生
- 2) 農山漁村の個性的整備
- 3) 都市と農山漁村の連携強化